

ふるる

# 風流々

～第31号～

編集・発行 乙訓福祉施設事務組合 乙訓若竹苑

〒617-0813 長岡京市井ノ内西ノ口 17-8

TEL 075-954-6501 FAX 075-954-6588

Mail otsufukuwakatakeen@lake.ocn.ne.jp

2018(平成30)年度 夏号

Topics

## 今年の夏祭りは、若竹苑の全事業が参加しました！

みなさん、こんにちは。

やっと、アツすぎる夏も終わりましたね。夏  
バテが残っている方、いませんか？ もう大丈夫  
ですか？

さて、「アツすぎる」といえば… 今年の若  
竹苑夏祭りも、本当にアツいものになりました。

なにせ、今回は「全事業の利用者さんが参加」  
され、2日間にわたる開催。今まででは生活系の

事業が中心でしたが、同じ屋根の下。「やっぱり就労系の事業だって楽しみ  
たい！」という希望を受け、若竹会のみなさまにご協力いただき、ついに実現  
しました。事業を問わず、利用者さんの笑顔が拡がる様子に… 夏祭り担当  
職員も、本当に嬉しそうでした。

初の試みが大成功で終えることが  
できたのは、若竹会のみなさまによる  
ご支援に他なりません。紙面上を  
お借りしまして、感謝申し上げます。  
本当にありがとうございました。



## 就労継続支援(B型)事業

就労継続支援(B型)事業の利用者さんは、初めての参加でした。そのため、なかなか夏祭りのイメージが出来ず、「どんなゲームがあるのかな?」「なにが食べられるかな?」と、当日までいろいろな会話が部屋で飛び交っていました。担当職員は、継続の利用者さんたちはあつという間にすべてのコーナーを回り尽くし、少し時間を持て余されるかも…と心配していましたが、そんな懸念を吹き飛ばす笑顔で、時間いっぱい楽しまれました。

夏祭りが始まると、他の事業の利用者さんと楽しく会話したり、一緒にフルンクフルトを食べたり。普段はなかなか見られない利用者さん同士の交流や、笑顔がたくさん見られました。あてもんもすごく盛り上がり、どんな景品が当たったか見せ合ったり、家で自慢すると言って嬉しそうにお持ち帰りされました。

継続のみなさんにとって初めての夏祭り、「また来年もやりたい!!」「生活介護や地域活動の利用者さんとお楽しみ会以外の行事と一緒にできてすごく楽しかった!!」「来年はたこ焼き食べたいな~」等という、夏祭りを満喫された声が多数聞かれました。利用者さんの笑顔がたくさん見られ、大成功だったと思います。



# 生活介護事業

生活介護事業の利用者さんは1日だけの参加でしたが、今年はとても賑やかな夏祭りでした。就労継続支援（B型）事業の利用者が参加されたことにより、これまで以上に利用者さん同士の交流が増えたと思います。それぞれの事業の利用者さん同士がお話しをしながら各コーナーを楽しまれたり、休憩スペースでフランクフルトや獲得したお菓子を食べながらお話ししたりしていました。一緒に写真撮影を取る事もでき、いつも以上の交流ができたように思います。

また、生活介護はお客様としての参加だけではなく、お菓子釣りの担当もしました。店番をすることにより多くの人とやり取りできたので、貴重な経験ができました。

若竹会会長の出し物ではギターに合わせ大きな声で歌う人や踊る人、それぞれの楽しみ方で参加されていました。最後には自発的に？アンコールの声もあがり、会場全体に一体感が出て大盛り上がりでした。夏祭りが終わってからは、景品の見せ合いつっこをしたり、感想を言いあつたりとまだまだ余韻に浸る感じで、参加した全員がとても良い表情をされていました。「来年も楽しみだね」と、早くも来年のお話ちらほらと聞こえてきました。

## ～追記～

夏祭りの販売ブースに新商品のTシャツやピアスなどを出品したところ、予想以上の売れ行きとなりました。利用者さん、親御さん、職員、様々な方に製品を見てもらい、コメントを頂き、とても嬉しく思っています。

みなさま、ありがとうございました。



生活介護事業 利用者・職員一同

# 地域活動支援センター事業

地域活動支援センター事業は、今年も2日間とも参加させていただきました。

お面や各コーナーの看板作りの準備をしながら、地域のみなさんが楽しみにされていた夏祭り。今年からは就労継続支援（B型）事業の方々の参加もあり、他事業の利用者さん達との交流も楽しまれていました。普段は顔を合わす機会が少ないだけに、それぞれが貴重な機会になったのではと思います。

夏祭りといえば、やはり屋台♪ 食べ応えのあるフランクフルトはとても好評で、給食後にも関わらずペロリと完食する利用者さんが続出。あてもんでは、欲しい商品に向かって狙いを定め…気合いを込めて輪を投げ、見事にゲット。お菓子釣りは、大きな商品を釣ったがはずれてしまい悔しそうにされていたり。その後、盆踊りや若竹会会長のギターは大いに盛り上がり、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。

夏祭りが終わった直後から、「むっちゃ楽しかった」「次はボウリングがしたいな」「カラオケがいい」「たこ焼き食べたい」「かき氷ないの残念やつた」など、いろいろな意見が聞かれました。それは、「楽しかったし、ぜひ来年も！」という期待からでしょうか。それほどに今年の若竹苑夏祭りは盛り上がり、楽しい時間となりました。

